

青森県景気ウォッチャー調査 (令和4年10月期)

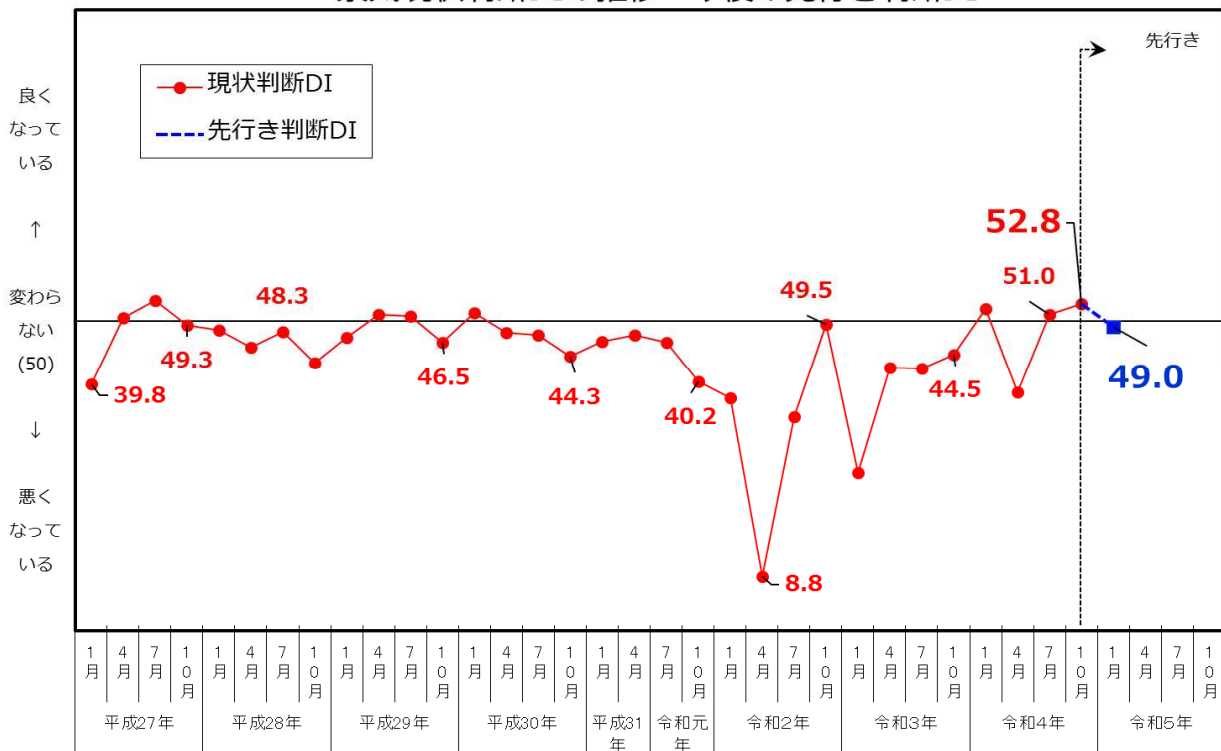
調査期間 令和4年10月1日～10月21日 回答率 100%

概 況

10月期の景気の現状判断DIは52.8となり、前期から1.8ポイントの上昇となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて3.8ポイント低下の49.0となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和4年11月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント上昇、「やや良くなっている」が1.0ポイント上昇、「変わらない」が2.0ポイント低下、「やや悪くなっている」が同水準、「悪くなっている」が1.0ポイント低下となった。

全体では52.8となり、前期から1.8ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

判断理由では、3カ月前と比べて新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたことや、夏祭りやイベント等の開催により人出が増加している、一部業種で受注が増加したといった声があった。一方で、家計の面では円安の影響や原油高、原材料、光熱費等の価格高騰により負担が増加し、消費支出が減少している、企業の面では価格転嫁ができていない、また、依然として物価上昇に対する賃金の増加がないといった声もあった。

② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で1.6ポイント上昇、企業関連で2.7ポイント低下、雇用関連で14.3ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、津軽、県南で上昇し、東青、下北で景気の横ばいを示す50を上回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が0.1ポイント上昇、「やや良くなる」が5.7ポイント低下、「変わらない」が0.7ポイント低下、「やや悪くなる」が3.3ポイント上昇、「悪くなる」が3.1ポイント上昇となった。

全体では49.0となり、今期調査の現状判断DIと比べて3.8ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、全国旅行支援の開始による人出の増加で観光・飲食・交通面の活性化を期待する声がある一方で、依然として続く円安や原油高、原材料、光熱費等の価格高騰の影響への懸念、各種商品の値上げにより家計が厳しくなることへ不安の声があった。また、節約志向による消費意欲の低下を案じる声もあった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で4.6ポイント低下、企業関連で1.4ポイント低下、雇用関連で同水準となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、東青、県南、下北で低下し、県南、下北で景気の横ばいを示す50を下回った。

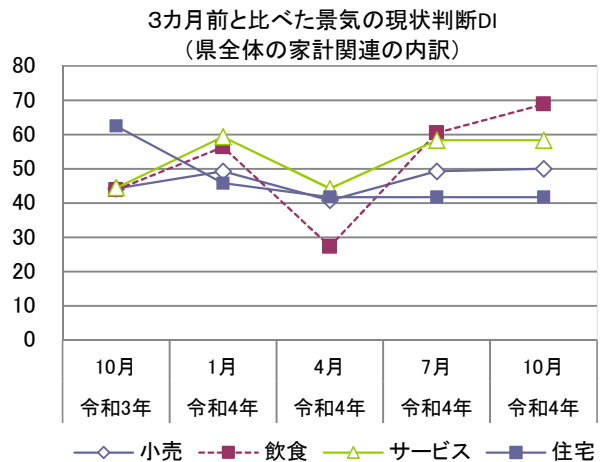
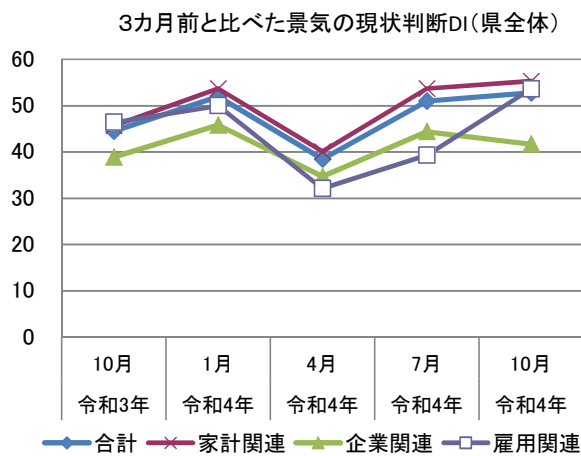
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

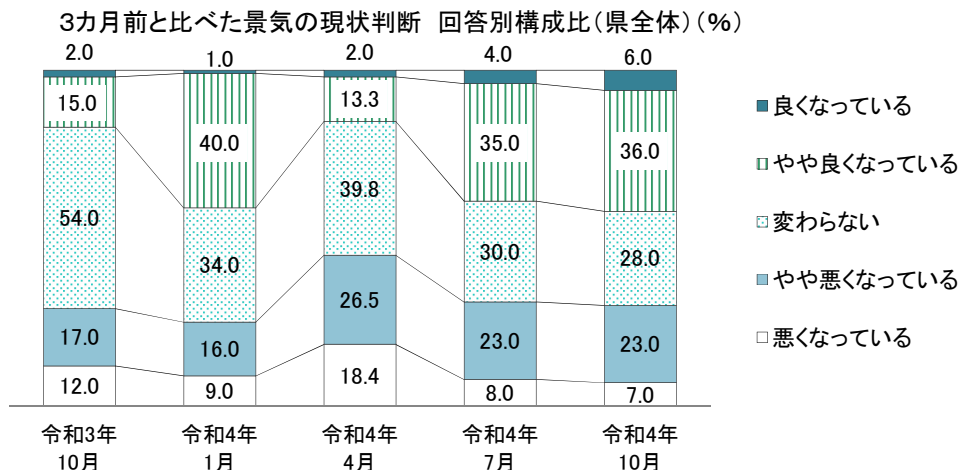
n = 100

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合 計	44.5	52.0	38.5	51.0	52.8	1.8
家計関連	45.7	53.7	40.1	53.7	55.3	1.6
小売	44.2	49.2	40.8	49.2	50.0	0.8
飲食	43.8	56.3	27.3	60.4	68.8	8.4
サービス	44.4	59.3	44.2	58.3	58.3	0.0
住宅	62.5	45.8	41.7	41.7	41.7	0.0
企業関連	38.9	45.8	34.7	44.4	41.7	▲ 2.7
雇用関連	46.4	50.0	32.1	39.3	53.6	14.3



②回答別構成比 (%)

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
良くなっている	2.0	1.0	2.0	4.0	6.0	2.0
やや良くなっている	15.0	40.0	13.3	35.0	36.0	1.0
変わらない	54.0	34.0	39.8	30.0	28.0	▲ 2.0
やや悪くなっている	17.0	16.0	26.5	23.0	23.0	0.0
悪くなっている	12.0	9.0	18.4	8.0	7.0	▲ 1.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 99

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	63.3	47.8	50.3	47.0	49.0	2.0
家計関連	64.7	49.0	52.4	49.7	50.7	1.0
小売	62.5	50.8	50.8	48.3	45.8	▲ 2.5
飲食	68.8	41.7	56.8	56.3	70.5	14.2
サービス	68.5	49.1	57.7	52.8	50.9	▲ 1.9
住宅	50.0	54.2	29.2	29.2	37.5	8.3
企業関連	55.6	38.9	40.3	37.5	40.3	2.8
雇用関連	67.9	57.1	53.6	42.9	53.6	10.7

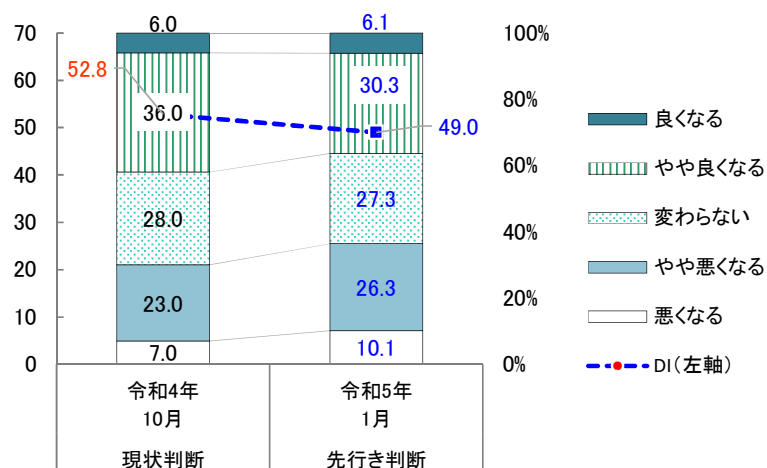
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
合 計	52.8	49.0	▲ 3.8
家計関連	55.3	50.7	▲ 4.6
小売	50.0	45.8	▲ 4.2
飲食	68.8	70.5	1.7
サービス	58.3	50.9	▲ 7.4
住宅	41.7	37.5	▲ 4.2
企業関連	41.7	40.3	▲ 1.4
雇用関連	53.6	53.6	0.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
良くなる	6.0	6.1	0.1
やや良くなる	36.0	30.3	▲ 5.7
変わらない	28.0	27.3	▲ 0.7
やや悪くなる	23.0	26.3	3.3
悪くなる	7.0	10.1	3.1

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

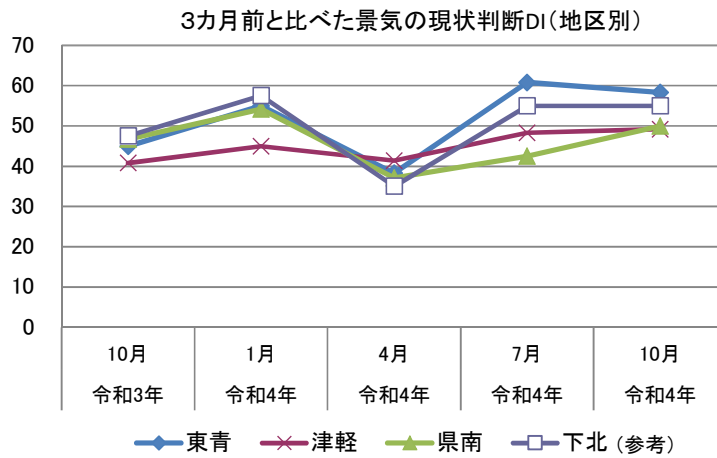
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

① D I

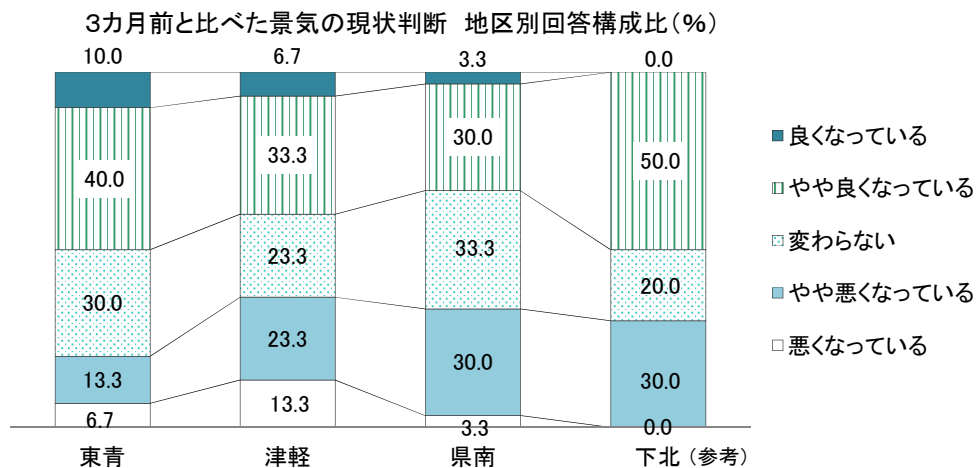
n = 100

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	44.5	52.0	38.5	51.0	52.8	1.8
東青	45.0	55.0	38.3	60.8	58.3	▲ 2.5
津軽	40.8	45.0	41.4	48.3	49.2	0.9
県南	46.7	54.2	37.1	42.5	50.0	7.5
下北	47.5	57.5	35.0	55.0	55.0	0.0



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	10.0	6.7	3.3	0.0
やや良くなっている	40.0	33.3	30.0	50.0
変わらない	30.0	23.3	33.3	20.0
やや悪くなっている	13.3	23.3	30.0	30.0
悪くなっている	6.7	13.3	3.3	0.0



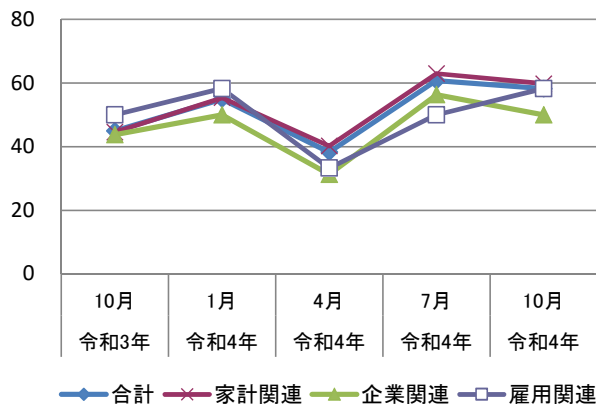
<東青地区>

①DI

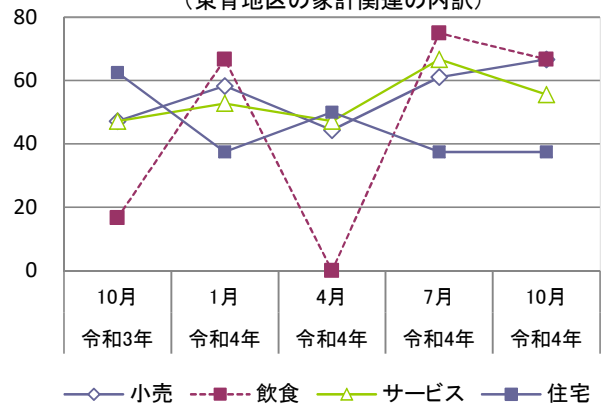
n = 30

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	45.0	55.0	38.3	60.8	58.3	▲ 2.5
家計関連	44.6	55.4	40.2	63.0	59.8	▲ 3.2
小売	47.2	58.3	44.4	61.1	66.7	5.6
飲食	16.7	66.7	0.0	75.0	66.7	▲ 8.3
サービス	47.2	52.8	47.2	66.7	55.6	▲ 11.1
住宅	62.5	37.5	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連	43.8	50.0	31.3	56.3	50.0	▲ 6.3
雇用関連	50.0	58.3	33.3	50.0	58.3	8.3

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



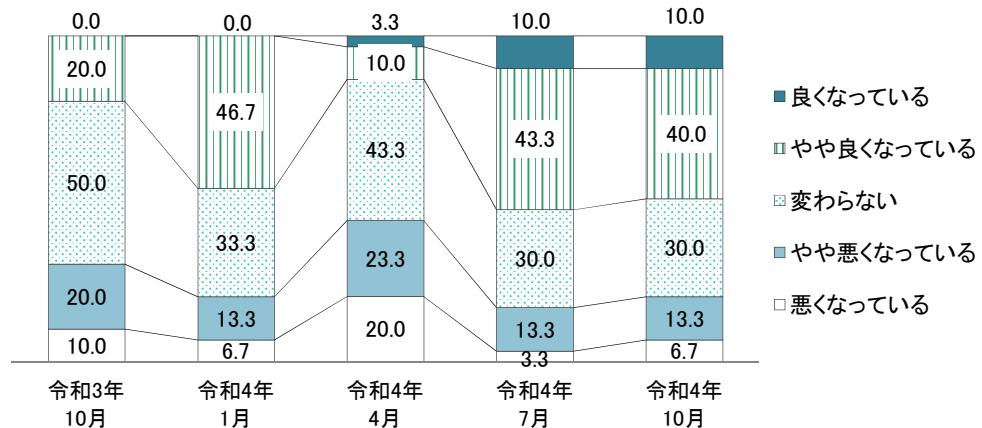
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.3	10.0	10.0	0.0
やや良くなっている	20.0	46.7	10.0	43.3	40.0	▲ 3.3
変わらない	50.0	33.3	43.3	30.0	30.0	0.0
やや悪くなっている	20.0	13.3	23.3	13.3	13.3	0.0
悪くなっている	10.0	6.7	20.0	3.3	6.7	3.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



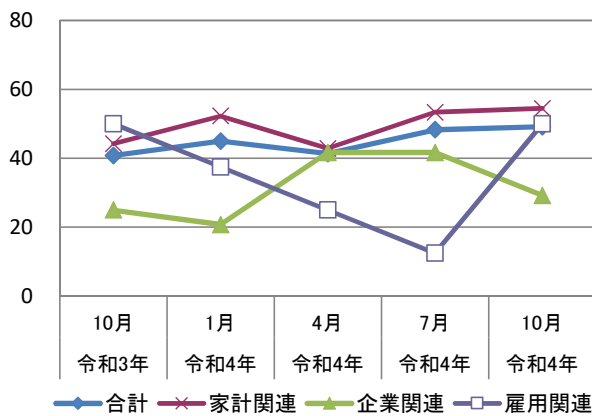
<津軽地区>

①DI

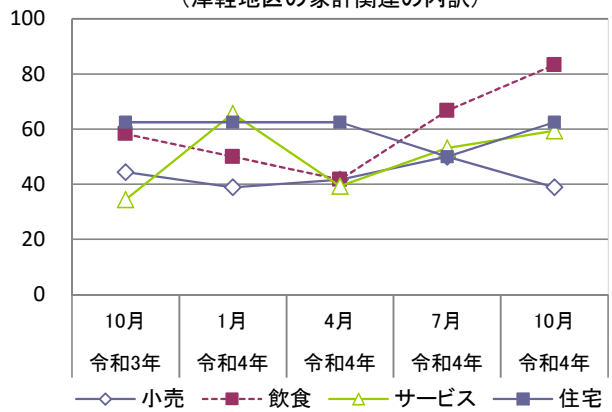
n = 30

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	40.8	45.0	41.4	48.3	49.2	0.9
家計関連	44.3	52.3	42.9	53.4	54.5	1.1
小売	44.4	38.9	41.7	50.0	38.9	▲ 11.1
飲食	58.3	50.0	41.7	66.7	83.3	16.6
サービス	34.4	65.6	39.3	53.1	59.4	6.3
住宅	62.5	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	25.0	20.8	41.7	41.7	29.2	▲ 12.5
雇用関連	50.0	37.5	25.0	12.5	50.0	37.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



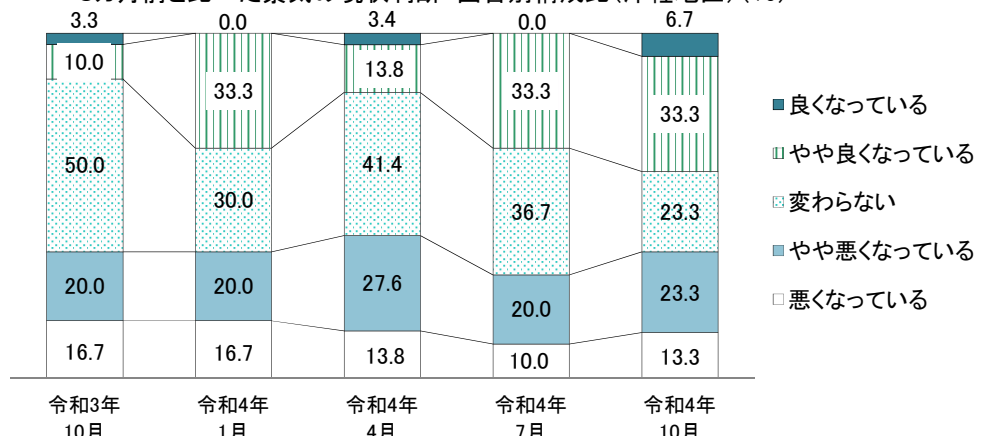
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	3.4	0.0	6.7	6.7
やや良くなっている	10.0	33.3	13.8	33.3	33.3	0.0
変わらない	50.0	30.0	41.4	36.7	23.3	▲ 13.4
やや悪くなっている	20.0	20.0	27.6	20.0	23.3	3.3
悪くなっている	16.7	16.7	13.8	10.0	13.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



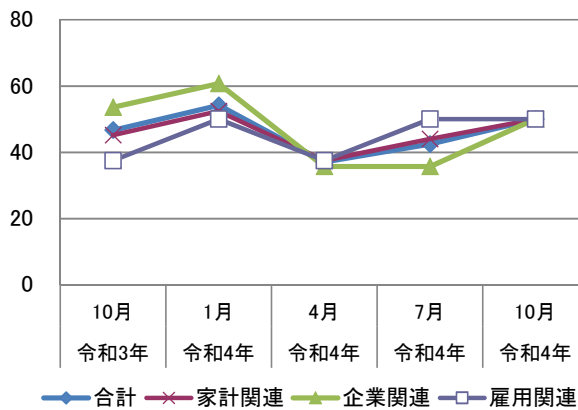
< 県南地区 >

① D I

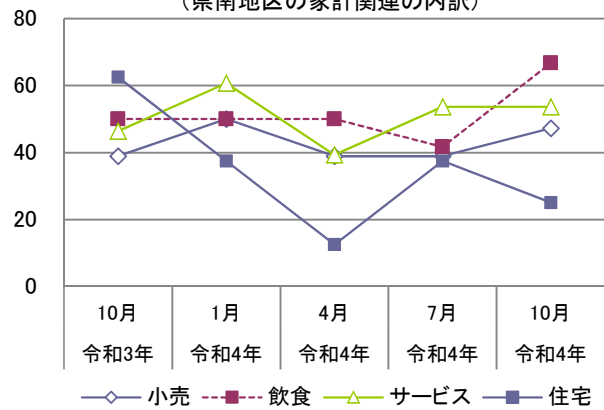
n = 30

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	46.7	54.2	37.1	42.5	50.0	7.5
家計関連	45.2	52.4	37.5	44.0	50.0	6.0
小売	38.9	50.0	38.9	38.9	47.2	8.3
飲食	50.0	50.0	50.0	41.7	66.7	25.0
サービス	46.4	60.7	39.3	53.6	53.6	0.0
住宅	62.5	37.5	12.5	37.5	25.0	▲ 12.5
企業関連	53.6	60.7	35.7	35.7	50.0	14.3
雇用関連	37.5	50.0	37.5	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



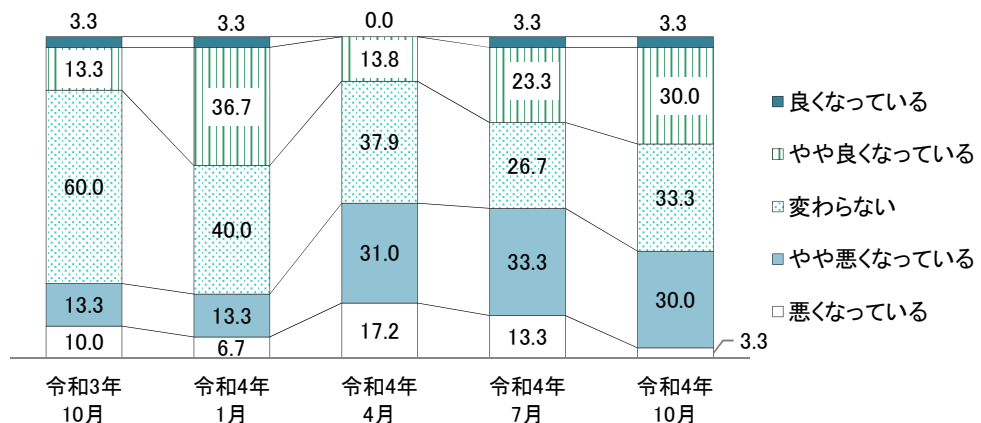
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	13.3	36.7	13.8	23.3	30.0	6.7
変わらない	60.0	40.0	37.9	26.7	33.3	6.6
やや悪くなっている	13.3	13.3	31.0	33.3	30.0	▲ 3.3
悪くなっている	10.0	6.7	17.2	13.3	3.3	▲ 10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

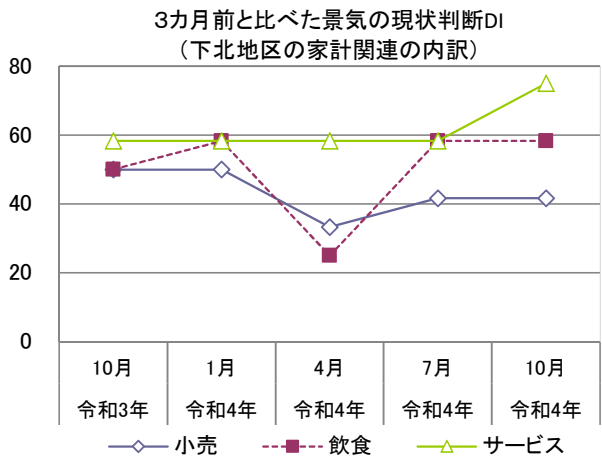
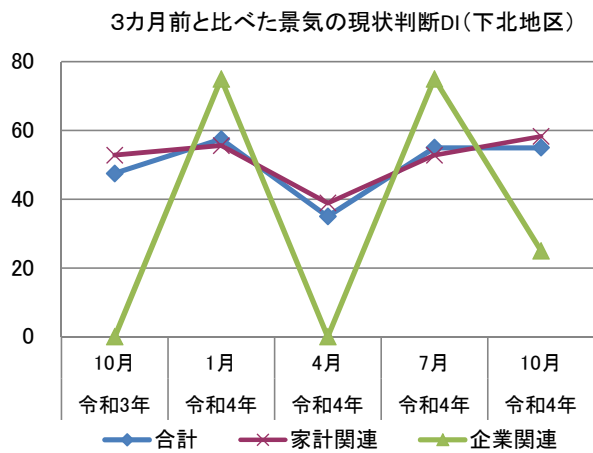


<下北地区> (参考)

①DI

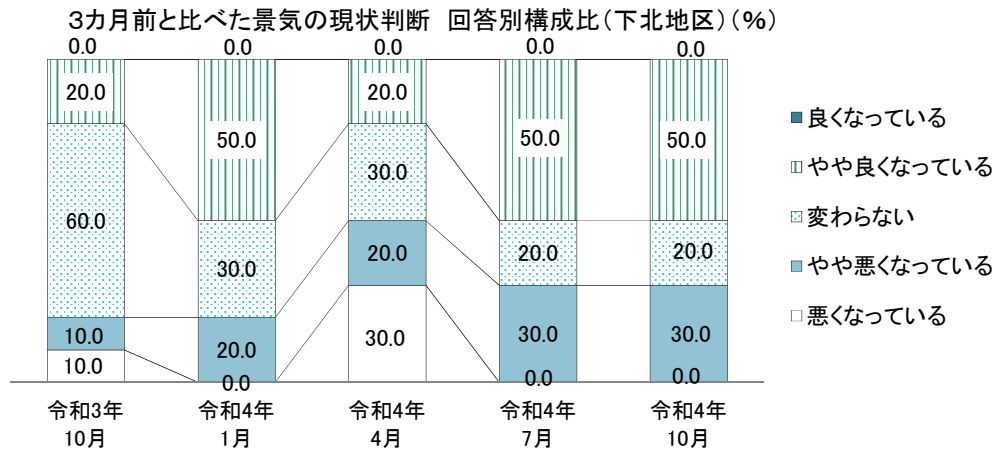
n = 10

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合 計	47.5	57.5	35.0	55.0	55.0	0.0
家計関連	52.8	55.6	38.9	52.8	58.3	5.5
小売	50.0	50.0	33.3	41.7	41.7	0.0
飲食	50.0	58.3	25.0	58.3	58.3	0.0
サービス	58.3	58.3	58.3	58.3	75.0	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	75.0	0.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	50.0	20.0	50.0	50.0	0.0
変わらない	60.0	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0
やや悪くなっている	10.0	20.0	20.0	30.0	30.0	0.0
悪くなっている	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0



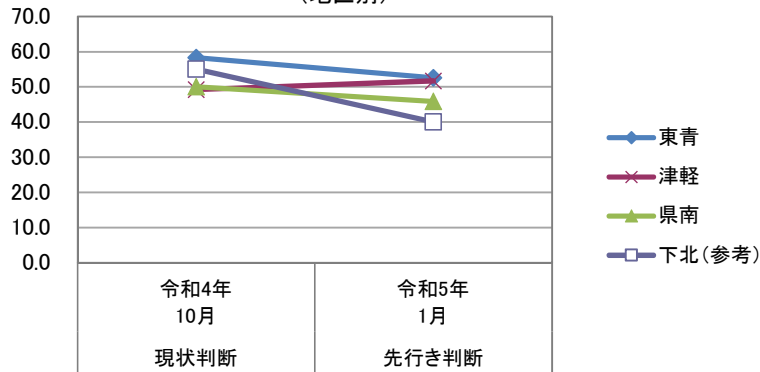
(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

	現状判断	先行き判断	差
	令和4年 10月	令和5年 1月	
合計	52.8	49.0	▲ 3.8
東青	58.3	52.6	▲ 5.7
津軽	49.2	51.7	▲ 2.5
県南	50.0	45.8	▲ 4.2
下北	55.0	40.0	▲ 15.0

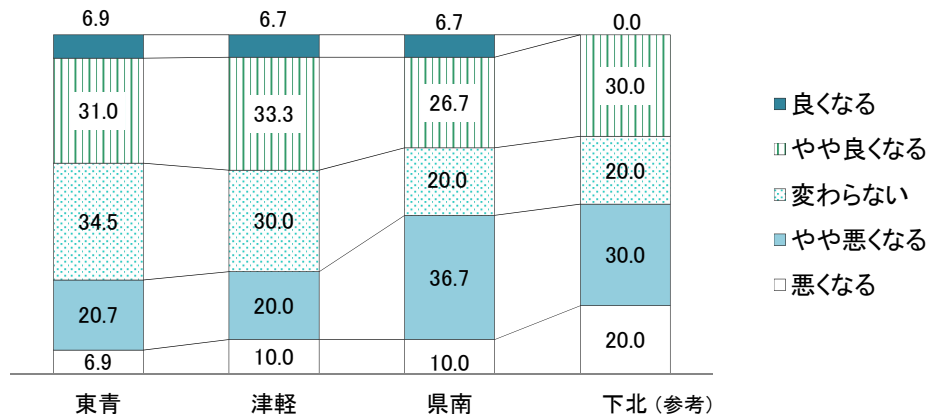
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	6.9	6.7	6.7	0.0
やや良くなる	31.0	33.3	26.7	30.0
変わらない	34.5	30.0	20.0	20.0
やや悪くなる	20.7	20.0	36.7	30.0
悪くなる	6.9	10.0	10.0	20.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 29

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	68.3	50.0	53.3	54.2	52.6	▲ 1.6
家計関連	68.5	51.1	55.4	59.8	53.4	▲ 6.4
小売	66.7	61.1	58.3	69.4	63.9	▲ 5.5
飲食	75.0	50.0	66.7	66.7	75.0	8.3
サービス	75.0	41.7	52.8	52.8	41.7	▲ 11.1
住宅	37.5	50.0	37.5	37.5	37.5	0.0
企業関連	68.8	43.8	43.8	37.5	56.3	18.8
雇用関連	66.7	50.0	50.0	33.3	41.7	8.4

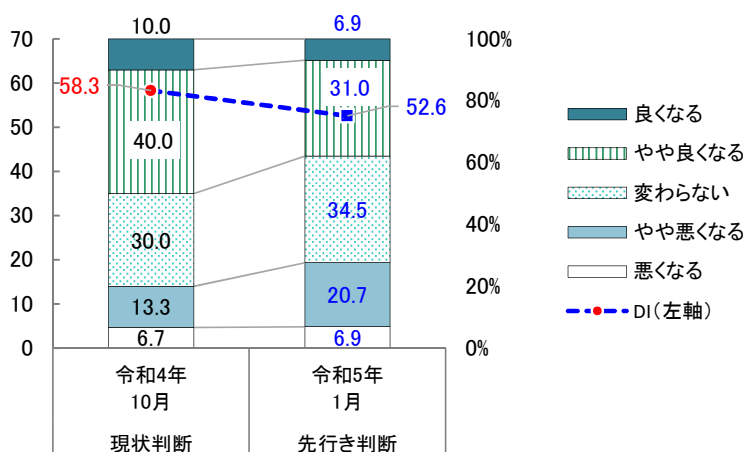
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
合 計	58.3	52.6	▲ 5.7
家計関連	59.8	53.4	▲ 6.4
小売	66.7	63.9	▲ 2.8
飲食	66.7	75.0	8.3
サービス	55.6	41.7	▲ 13.9
住宅	37.5	37.5	0.0
企業関連	50.0	56.3	6.3
雇用関連	58.3	41.7	▲ 16.6

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
良くなる	10.0	6.9	▲ 3.1
やや良くなる	40.0	31.0	▲ 9.0
変わらない	30.0	34.5	4.5
やや悪くなる	13.3	20.7	7.4
悪くなる	6.7	6.9	0.2

現状判断と先行き判断との比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	58.3	46.7	50.9	45.8	51.7	5.9
家計関連	63.6	48.9	48.8	50.0	56.8	6.8
小売	61.1	44.4	41.7	41.7	44.4	2.7
飲食	66.7	50.0	41.7	66.7	83.3	16.6
サービス	65.6	50.0	64.3	56.3	59.4	3.1
住宅	62.5	62.5	37.5	37.5	62.5	25.0
企業関連	33.3	33.3	50.0	29.2	29.2	0.0
雇用関連	75.0	62.5	75.0	50.0	62.5	12.5

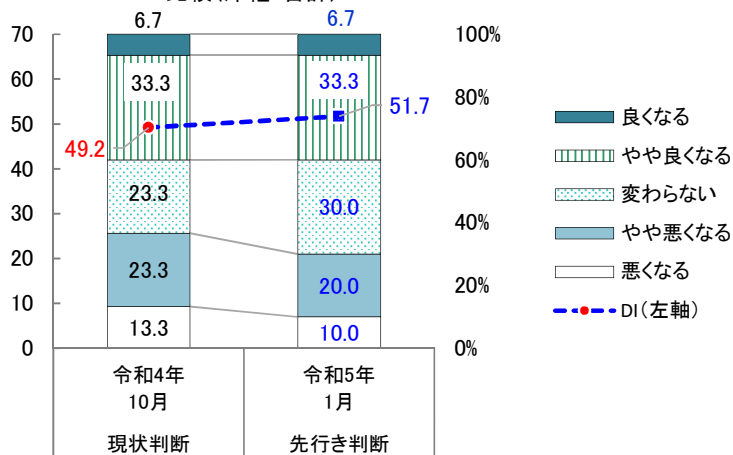
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
合 計	49.2	51.7	2.5
家計関連	54.5	56.8	2.3
小売	38.9	44.4	5.5
飲食	83.3	83.3	0.0
サービス	59.4	59.4	0.0
住宅	62.5	62.5	0.0
企業関連	29.2	29.2	0.0
雇用関連	50.0	62.5	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
良くなる	6.7	6.7	0.0
やや良くなる	33.3	33.3	0.0
変わらない	23.3	30.0	6.7
やや悪くなる	23.3	20.0	▲ 3.3
悪くなる	13.3	10.0	▲ 3.3

現状判断と先行き判断との
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

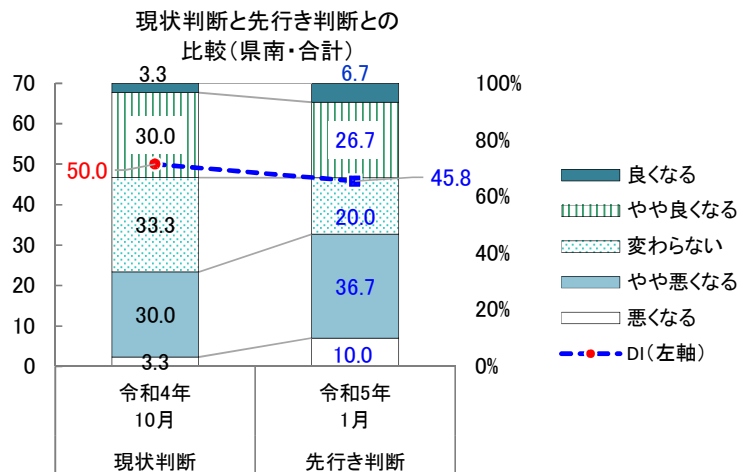
	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	65.0	47.5	43.1	40.0	45.8	5.8
家計関連	65.5	47.6	47.5	39.3	45.2	5.9
小売	63.9	52.8	50.0	41.7	41.7	0.0
飲食	83.3	25.0	62.5	33.3	58.3	25.0
サービス	64.3	50.0	50.0	46.4	53.6	7.2
住宅	50.0	50.0	12.5	12.5	12.5	0.0
企業関連	64.3	42.9	32.1	39.3	42.9	3.6
雇用関連	62.5	62.5	37.5	50.0	62.5	12.5

② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
合 計	50.0	45.8	▲ 4.2
家計関連	50.0	45.2	▲ 4.8
小売	47.2	41.7	▲ 5.5
飲食	66.7	58.3	▲ 8.4
サービス	53.6	53.6	0.0
住宅	25.0	12.5	▲ 12.5
企業関連	50.0	42.9	▲ 7.1
雇用関連	50.0	62.5	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
良くなる	3.3	6.7	3.4
やや良くなる	30.0	26.7	▲ 3.3
変わらない	33.3	20.0	▲ 13.3
やや悪くなる	30.0	36.7	6.7
悪くなる	3.3	10.0	6.7



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

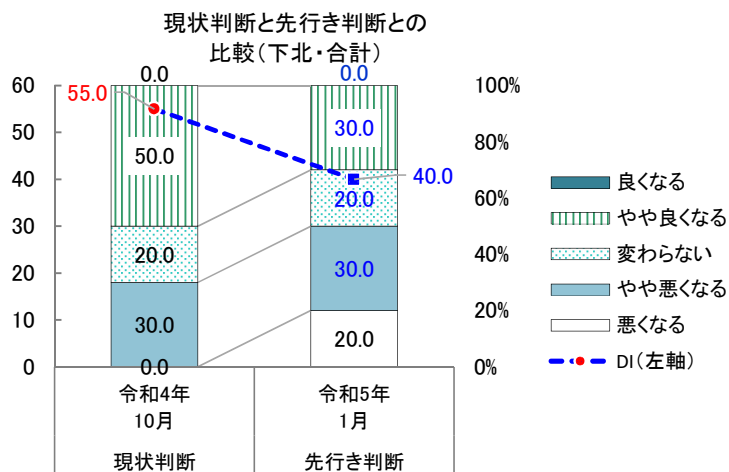
	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	前期調査 との差
合 計	57.5	45.0	60.0	50.0	40.0	▲ 10.0
家計関連	55.6	47.2	63.9	47.2	41.7	▲ 5.5
小売	50.0	33.3	58.3	25.0	8.3	▲ 16.7
飲食	50.0	41.7	58.3	58.3	66.7	8.4
サービス	66.7	66.7	75.0	58.3	50.0	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	25.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
合 計	55.0	40.0	▲ 15.0
家計関連	58.3	41.7	▲ 16.6
小売	41.7	8.3	▲ 33.4
飲食	58.3	66.7	8.4
サービス	75.0	50.0	▲ 25.0
住宅	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 10月	先行き判断 令和5年 1月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	50.0	30.0	▲ 20.0
変わらない	20.0	20.0	0.0
やや悪くなる	30.0	30.0	0.0
悪くなる	0.0	20.0	20.0



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	卸売業	家庭用、業務用共に商品の出荷が多くなってきている。飲食店、観光地等人の動きが多く見られる様になってきている。
			一般小売店	夏祭り時期からお盆以降、コロナによる行動制限が無かった事が全て。
			観光名所等	来館者の増加。あわせて団体旅行予約も回復傾向。
		津軽	設計事務所	市内の建設業者も人手が全く足りていないという状況です。建設資材が高騰していますがどういう訳か受注量も多いようです。設計業務においてもコロナ前より多いような気がします。当社も社員を増強する手配をしています。
			一般飲食店	県外からのお客様が少しずつ戻ってきている。
県南	衣料専門店	コロナ感染が間違いなく収束に向かっている現状、徐々に景気も上向きになっていく事は間違いない。		
やや良くなっている	家計	東青	一般飲食店	コロナ禍が続いて感覚的に悪い景気に慣れ過ぎていて少し客足が良くなっているが、まだ正常にもどるのに時間がかかりそう。
			商店街	3か月前という、8月の夏祭り後の第8波の前で、コロナがおさまってきた感があった時期。ようやくいくらかの安心を持って、県内外の行き来を含め、人通りが回復していたが、暑さが8月には落ち着いてしまったため、夏商品に関しては、思ったほどの伸びがなかった。しかし、その後の急激な感染拡大にもかかわらず、恐れたほど重症者が増えなかったことや、感染のおさまり具合が割合早めに見えたことなどもあって、結果としては3年ぶりに開催できたねぶたの、人々のマインドを明るくする効果もあって、旅行割なども含め、県外との交流人口がさらに増えており、街の人気飲食店での行列が、継続して多く散見され続けていること等からそのように考える。
			コンビニ	観光客が増えたり、イベント(コンサートなど)も少しずつあるかと思う。
			レストラン	少しですが団体のお客様の予約が入るようになった。
			都市型ホテル	県民割実施により宿泊需要は非常に好調ですが、一方レストラン、宴会部門は大人数での宴会実施を自粛する業種もあり、コロナ前の状況には戻ることができていない。
			旅行代理店	人の動きが多くなり仕事の量が増えてきた。
			百貨店・スーパー	国内イベント、行動制限緩和等。
			衣料専門店	7,8月は昨対比良好であった。全県的に実施された集客事業(ねぶたなどの観光事業)が開催されたことからコロナの開放感が効果的であった。9月は自然災害がブレーキをかけた。
		津軽	商店街	街に人が出ている。コロナも8月~9月より落ち着いているし、前ほど気にしていない。コロナ補助金のイベントや冬のイベントもあるので、景気は戻っている。
			美容院	社会がコロナに慣れて外出する人が増えているように感じる。人出の混み具合がコロナ前に戻っているかのようだ。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	津軽	スナック	コロナの行動制限がなくなり、7月から増えたコロナも少し落ち着いてきているので人流も少しずつ増えてきているような気がする。
			観光名所等	コロナ禍の悪影響（東北六県で平均人口比較値が最多発症）、8月大雨洪水災害被害影響（奥羽線不通、五能線不通、津軽線不通、十和田湖や西目屋白神の交通、住宅や農作物(リンゴ・米・蕨キミ等)の冠水の影響)がある一方で、3カ月前と比べると雲泥で観光客が良くなっている。
			旅行代理店	コロナ第7波も落ち着き、行動制限が無くなった影響。
			レストラン	外食の需要が増えているのが感じられるから。
			一般小売店	4-6月の前年比に比べて、7-9月はわずかではあるが、2.2%アップした。
	県南		レストラン	以前より、外食される方が増えました。スタンプラリーのイベントや、割引チケットを使う方がたくさんいらっしゃいます。会社の飲み会も出来る様になり、少しずつではありますが、宴会が増えてきました。
			旅行代理店	おでかけキャンペーンの実施や海外渡航の緩和が影響していると思う。
			タクシー	仕事で走っていると結構交通規制に合う。建築業関係とか建設業関係はいいのではないか。それに、一般の市民がもう少し出してくれるとうれしい。
			一般飲食店	当然、コロナが落ち着きつつあることが大きな要因と思われる。結果人出が有り客数増につながっている。
			卸売業	以前よりも業務店からの注文が増えたように感じる。
	下北		百貨店・スーパー	コロナが落ち着いてきたことで外にでる意欲が上がり外出に関連した物の支出が増えた。
			ガソリンスタンド	コロナも大分落ち着き、祭りも小規模でも行われ、コロナ前には及ばないが普通の生活に戻りつつあるため。
			タクシー	婦人会や老人会で県内の日帰りツアーに行くような動きが見えてきて、少しずつ巣ごもりから抜け出しつつあるのかなぁ…と。市町村のイベント等も3年ぶりに再開というのも多く、人流が戻り活気も戻り、明るいニュースが多く見受けられます。
			都市型ホテル	宿泊客は前年、前々年よりは確実に伸びてきている。宴会場利用については、未だ飲食を伴うものは少ないものの、街の雰囲気が変わりつつあると感じる。
	企業	東青	経営コンサルタント	8月の豪雨により宿泊業でかなりの痛手を負った地域もあるが、3年ぶりの夏祭りの影響で宿泊業・小売業の景気はやや良くなっている。
			広告・デザイン	コロナの減少、国の経済優先への舵取り。
		津軽	経営コンサルタント	景気が良いとまでは言えないが、土日等の大型店舗等の駐車場はかなり埋まっているし、着実に人出は増えている。小規模のイベント等はあちこちで散見される。9月18日に3年ぶりに開催されたカルチャーロードも多くの人出があり、出店したある団体は前回（3年前）の売り上げとほぼ同程度の売上だったということだ。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	企業	県南	飲料品製造	コロナ感染者も落ち着き、人の動きも出てきた。また旅行支援策や地元の補助金を活用した活性化事業なども進められている。また8月から直売所を開設したが観光客も少しづつではあるが確実に増えてきた。
			紙・パルプ製造	ロシア関連や円安による物価高等は続いているが、新型コロナ関係はやや小康状態になっており、海外の観光客の受け入れ等も拡大されてきた。
	雇用	東青	人材派遣	人財不足で求人オーダーが少しずつ増えてきている。
		津軽	新聞社求人広告	物価高の中で、商店街が行政の販促支援などで頑張っている。県民割の期間延長もプラス要因。
		県南	新聞社求人広告	ようやくここに来てイベント開催ができるようになってきたため。
変わらない	家計	東青	美容院	春頃には多少人の流れはありましたが、下がり気味の様です。
			観光型ホテル・旅館	県民割が継続され、今後全国旅行割が再開される見通しであり先行き明るいとはいえるが、支援策の今後の不透明なうえ現在も旅行割の詳細についてアナウンスなく現場は混乱している。この夏は個人客の動きが良く大変助かったが、相変わらず支援策の有無により予約状況が大きく変化するので、先を見通せない状態。また、期待されるインバウンド誘客は期待感はあるながら交通再開見通しと誘客の具体策は相変わらず動きが遅い。
			スナック	居酒屋は景気は良いみたいです。私達同年代のスナックは大変です。でも若いママさん達は忙しいと思います。
			設計事務所	各種建築専門業者は多忙にしておりその要因は仕事が増えているのもそうですが、職人不足、人手不足が大きいそうです。
			娯楽業	相変わらず横ばい傾向です。
			娯楽業	売上に特別変化が無いため。
			津軽	娯楽業
		乗用車販売		コロナ禍の行動制限の緩和などで景気はやや上向き傾向ではあるが、物価高などによる高額商品の停滞感は続いている。
		ガソリンスタンド		原油高や原材料、食料品をはじめ公共料金等の値上げもあり、消費意欲が低下していると思う。
		県南	百貨店・スーパー	「悪い」が変わっていない。コロナが鎮静化傾向でも、コストアップ、コストプッシュが異常で経営を圧迫している。
			ガソリンスタンド	物価上昇の中で、企業収支の改善は厳しく、個人の可処分所得は増加していないため。
			家電量販店	ガソリン・灯油の値上や食材の値上報道が多く、消費全体が低下していると思われる。また、夏場の天候不順も影響あり。
			観光名所等	客入数・売上共減少が続いているため。
			乗用車販売	海外情勢の不安定が継続されており、その影響がガソリン高にはじまり、電気料金まで値上がっている。10月から再度に渡り、食品・生活用品が値上がり、消費者の購買意欲が更に低下する。
			スナック	人が出ていない。
		下北	一般飲食店	当市の3か月前だとお盆とか3年ぶりにやった祭りとかあったのですがいろいろ規制があったりしてコロナ前だとすごく忙しくて人出も多いしこのコロナでほんとうに町が死んでいるみたいです。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	津軽	広告・デザイン	取引先等での肌感ではまだまだ上向きになっているとは言えない、苦境が伝わってきているため。必要なものであっても経費の観点で、節約以上の節制を行っているように感じる。
		県南	建設	円安や10月からの値上げラッシュで家計を直撃。少しでも節約しようと、値上がりする前にビールなどを大量に買い込む人が9月末に多く散見された。（自分を含む）
			経営コンサルタント	コロナは、少し落ちつき、2、3か月前に比べると夜の街中は人出も増えてきて、飲食店の売り上げは増加しているが、一方で、大型店舗閉店で、未だに、美容院、歯科医院等で人出減少の影響を受けている業種もある。
			広告・デザイン	コロナも落ち着いた感がありますがすぐにビジネスにつながることはなく、コロナ融資を受けた企業の返済が始まり、厳しい状況になっているクライアントが多々あり、そこからは広告費は出ない。
雇用	東青	新聞社求人広告	各種製品の値上げ、燃料価格の高止まり、社会情勢不安などから消費意欲が低迷している。	
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店・スーパー	コロナによる影響以上に、あらゆるものの値上げがお客様の節約志向に拍車をかけているため。
		津軽	卸売業	仕入れ価格は上昇したが、製品の販売価格の転嫁はまだほぼできていない。
			都市型ホテル	コロナ第7波の影響が今出ている。
			住宅建設販売	見学会開催来場者、展示場来場者が徐々に減ってきているから。
		コンビニ	物価高でコンビニエンスストアの需要が減ったため。	
	県南	商店街	各分野での値上げが決まっているため、暗い見通しとなっている。	
		一般小売店	ほとんど全ての物価が上昇傾向なのに実質収入は多数の人が減少している。	
		百貨店・スーパー	電気料・ガス代金の高騰により、家計負担が増えたため。食料品や日用品の値上げにより、家計負担が増えたため。	
		美容院	来店頻度が低くなって来ています。	
		コンビニ	円安・物価高で先行き不透明。	
	下北	コンビニ	暗いニュースばかりをマスコミが流すので消費が冷えきっている。	
	企業	東青	建設	資材高騰と人材不足で建設の原価が上昇しているが、お客様に価格転嫁ができていない。また建設業の場合は計画段階、契約から完成（納品）までの期間が長いので、令和元年頃の計画は軒並み変更（予算・工期）を余儀なくされている。
			食料品製造	物価上昇が続いており 値上げやむなしとなっておりますが、水産商品は少しの値上げでも客離れが深刻です。水揚状況も水温が下がらずよくありません。非常に厳しいです。
		津軽	食料品製造	物価高騰で買い控えをしている。
県南		電気機械製造	エネルギー不足・物価高が起り、日本以外の国が金融引き締めに参加していることで、3か月前に比べ投資が抑えられ始めていると感じる。取引先からも明るい話が減った。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	県南	食料品製造	全てのモノが値上げ。
		下北	食料品製造	コロナが落ち着き、人の動きが出て来ている反面、製品の値上げ、資材の値上げ、エネルギーの大幅値上げがこれからも続く方が影響が大きい。
	雇用	津軽	人材派遣	昨今の物価高の影響だと察しますが、買い物を控えたり低価格の商品を購入したりという光景が目につく。
		県南	人材派遣	円高、燃料費高騰などの各業界に影響が見られる。
悪くなっている	家計	東青	家電量販店	ウクライナ危機による建材やエネルギー価格の上昇、また、円安に起因する輸入品物価の上昇が光熱費やガソリン価格、食料品等の値上げへと繋がり、消費支出は全体的に減少傾向にあるとみられるため。
			タクシー	物価高による個人消費の減退が最も強く感じとれます。日常の買い物だけに留まらず、青森もこれから寒くなって燃料費も必要な時期を迎えるので、この傾向は益々顕著になってくると思います。
		津軽	百貨店・スーパー	「物価上昇に対して賃金の増加が無い。（パートは除くとして）」と、他種業態の声も聞こえてくるので!
			衣料専門店	コロナ禍で外出しない。
		県南	設計事務所	物価が上昇しているが、物は足りなく、仕事の単価は上がらないため。
	企業	津軽	電気機械製造	物価が上昇しているから。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般小売店	秋の行楽シーズン、さらに新しいGoToトラベル等の施策で人とお金が動くと予想されるから。
			津軽	一般飲食店
		県南	設計事務所	円安や戦争がこの先どうなるか、それによって仕事も影響されるのでしょうが今のところ先の仕事も見えていますしこれからの受注に繋がる雰囲気も大いに感じます。
			衣料専門店	コロナ感染が間違いなく収束に向かっている現状、徐々に景気も上向きになっていく事は間違い無い。
			旅行代理店	コロナ対策が定着しているし、きちんと対策をしながら出掛けるという意識になってきているから。
企業	東青	広告・デザイン	コロナの減少、国の経済優先への舵取りによる国の各種経済対策予算の地域交付。	
やや良くなる	家計	東青	商店街	この夏の大きかった第7波をまずまずの状態を超えたこと、ワクチンや薬剤にも明るい先が見え始めていることなどから、このままの比較的落ち着いた状況が続けば、逆にコロナ禍で抑えていた消費マインドがさらに動くのではないかと予測をしているため。
			一般飲食店	コロナ禍からの正常にもどっていく後押しが何かあれば良いが10月色々な物価値上がりもあり、消費に向かう気持ちが今ひとつ出ない。
			旅行代理店	全国旅行支援が始まり期待している。
			娯楽業	全国旅行支援が開始して観光事業が活発になると宿泊、飲食、交通の需要が増え、同時に外国人観光客も増えて地方経済が活性化して波及効果で上向くと思います。
			百貨店・スーパー	コロナ罹患者の減少。インバウンド再開。国内観光の回復が見込まれる。
			衣料専門店	人々の移動制限が経済に影響することは実証済み、観光、宿泊に補助事業が実施されることから大いに期待している。
			レストラン	これから年末にかけて行事があるので期待したい。
	津軽	商店街	1月は商店街のイベントがあるので、今より少しは景気が良くなっていると思うが、冬は感染症が広がりやすいので、微妙なところではある。	
		観光名所等	10月11日開始、コロナ対策店、国、全国旅行支援 12月下旬「青森県お出かけクーポン全国版」クーポン券の開始…期待 インバウンド客 順次回復・下見開始 留学生職場体験開始…期待 コロナ禍の影響 全体的大幅減少傾向 大雨洪水災害 奥羽線10/10回復予定 五能線年内? 復旧予定、津軽線不通、十和田湖は復旧・西目屋白神山地は入口の交通 住宅浸水や農作物の冠水の災害は順次回復	
		一般小売店	コロナが落ち着いてきたが、物価上昇の影響で回復は「やや良くなる」程度かと思う。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	津軽	旅行代理店	全国旅行支援に期待。
			レストラン	10月11日から旅行支援が再開され、観光のお客様の増加により飲食店もそれなりに売上の増加が見込まれるため。
			娯楽業	コロナに対しての危機感が全体的に薄れている気がする。それによって少しずつ人が出てくると思う。
		県南	タクシー	仕事が発注されるのは今が一番多いのではないだろうか。規制が緩和され旅行客が増えて来るようになるのではないかと。
			観光型ホテル・旅館	県・国の旅行支援、インバウンドの入国制限撤廃。
			卸売業	コロナ感染が減ってきており規制も少なくなっているため、経済活動も活発になっていくと思う。
			レストラン	旅行に行く方や、当市へ来てくれる方がこのまま増えて、中心街の夜が賑やかになってほしいと思います。コロナの感染者が広がらない事を願うばかりです。
	スナック	年末だから。		
	下北	都市型ホテル	この後、コロナウイルス感染症の第8波が来れば分からないが、それを除けば全国旅行キャンペーンや外国からの入国規制の緩和等、景気は上向くと思う。	
	企業	津軽	経営コンサルタント	期待をこめてそ願いたい。
		県南	飲料品製造	コロナ感染状況が落ち着いていけば、年末に向けて各種会合も行われるようになり、飲食店などにもある程度人が戻ってくる気がするが、すべての「値上げ」の流れがあるかぎり地元の消費にある程度のブレーキがかかりそう。観光客の増加やインバウンドによる人の動きに期待したい。
			建設	コロナ感染数がどのように推移していくか不明だが、10月から始まる全国旅行割で観光地は一時的に活性化してお金の流れがよくなると思う。しかし、観光関係者などには恩恵があると思うが、原油高やロシアの戦争が治まらない限りは物流が安定せず、商品高騰化の波は収まることはなく、一般家庭の家計は厳しいままだと思う。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	入国者数の上限撤廃によるインバウンド需要の回復と話題になっている全国旅行支援に期待。
県南		新聞社求人広告	コロナとの共生が進みそうだから。	
変わらない	家計	東青	卸売業	価格改定(値上げ)が影響すると思われる。
			美容院	このまま今年は終わりそうです。
			観光型ホテル・旅館	電気代、燃料代、食材ほか原材料費高騰は10月より本格化。売り上げが不透明な状況に加え収益懸念材料が多い。
			設計事務所	実態は見えるばかりでなく潜んでいる景気要素は見通しに不安感が漂う。円安の動向、建築資材、特にスチール製品の価格の動向等平穩に推移するか見守るのみ。時間差で価格、納期など変動が起こっている。
			観光名所等	閑散期に入るが旅行需要は戻りつつあるのではないかと。

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	東青	家電量販店	10月より食品中心に本格的な値上げが開始となり、輸入品、特に小麦やガソリン、家畜飼料などが大きく値上げの影響を受けており、今後の政府による施策にもよるところはありますが、今年度いっぱいには現状から景気が回復する見込みは薄いように感じられます。	
			津軽	コンビニ	他業種の変化によって、変動はあるかもしれない。
				乗用車販売	物価高による生活費の切り詰めが続くと考えられる。
				衣料専門店	市役所や大手の会社で夜の飲食を制限しているところが多いため。
				ガソリンスタンド	新型コロナウイルス感染状況の完全終息がまだ見えず、ウクライナ情勢の長期化もあり、景気回復の予想が難しい。
				美容院	コロナの対処薬が開発されれば格段に良くなると思うが、そこがなかなか…。
			県南	観光名所等	特に良い変化がおきる状態でないため。
				百貨店・スーパー	コロナにより帰省出来なかったストレスから解放され、今年のGW、お盆は一気に帰省が増え、一部の売上は戻ったが、原価高騰、値上がりにより景気は上向かないだろう。
				家電量販店	円安や海外情勢の影響があると思います。
			下北	ガソリンスタンド	せっかくコロナが落ち着いてきているが、物価の高騰で家計や会社の経費も上がっていると思われる。
		一般飲食店		コロナで当地域は県内としてはあまり減らないというか、この頃は他の地域よりも多い時もあり、その影響で人の動きが少ない。	
		企業	東青	経営コンサルタント	全国旅行支援の政策が10月から開始されることから景気に影響は出てくると思われるが、資材価格の高騰は依然として続いており建設業は収益が悪化し、卸売業・小売業は仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できず粗利が低くなる傾向にある。
				食料品製造	厳しい状況ですが旅行支援も始まることから人の流れができるとおもいます。
			津軽	広告・デザイン	観光業でさえ明るいニュースが舞い込んだかと思えばそうとは言えない状況。ここがコロナ前にすら届かないのだからこそ、景気が上向きになったかといえそうでないと考えてしまう。
				県南	広告・デザイン
					紙・パルプ製造
			雇用	東青	新聞社求人広告
	津軽	人材派遣		ここ数ヶ月前からの物価高に戸惑わされている。特に生活する上で必要不可欠な、電気、ガス等のエネルギー関連や、食料品関連の価格が、未だかつて経験したことのないような物価高騰ぶり。給与所得者は新型コロナ蔓延の影響も有り、給料アップも望めず収入は変わらず支出は激増という過酷な状況で、年金生活者は更に深刻な状態。政府からの経済援助や消費税一時減免等、思い切った経済対策を期待したいところだ。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	ガソリンスタンド	給与水準は変わらないのに、物価だけが上昇するため消費は鈍ると思われる。
			娯楽業	様々な要因による物価高の影響が心配。
			都市型ホテル	県民割の特需が終了した後の稼働への影響が懸念されます。
		津軽	百貨店・スーパー	食品の値上げ。
			家電量販店	10月から物価の値上がり本格化し、その現実が景気に影響を及ぼしつつある今後である。
			住宅建設販売	価格高騰により、コストアップ、売価を上げざるを得ず、お客様予算との乖離が今以上にひろがり、当初資金計画立案段階で、話が進まなくなっているから。
			都市型ホテル	地域的に冬期間が最も売上げが落ちるため。
		県南	ガソリンスタンド	10月を境に、食品、燃料代、光熱費等、更なる値上げもあり、冬場に向けて暖房光熱費等の需要も増加することから、消費支出に慎重になるものと思われるため。
			一般小売店	10月1日から雇用保険料率、10月5日から最低賃金と雇用者(企業)側の負担も上昇し、現状より厳しくなる事が予測される。
			美容院	給料の昇給が見込めない中、各業で値上げが続いているのでしばらくは節約期間に入るのではと思う。
	住宅建設販売		契約件数が減少したから。	
	乗用車販売		半導体不足・部品調達遅れに加えて、部品の値上げが顕著に出てきている。自動車の需給バランスの回復の兆しが不透明である。	
	一般飲食店		一番は大きな物価上昇、なにもかもが値上げしている。今まで経験したことがない物価上昇にお手上げの状態です。どんどん利益を食いつぶしている。円安も当然続きそうだし、ウクライナの紛争も長引くだろうし不安でいっぱいであります。	
	商店街		現状でも電気や油関係が上がって厳しい中、他の物も値上げされるから。	
	娯楽業		原油・電気・円安・その他物価上昇。先行き不安がいっぱいです。それに加え、冬場のコロナ感染症動向も気になります。	
	下北	タクシー	正月前後は、値上げが今より加速して、気候も伴い、また出不精になり動きが止まるように思います。	
		百貨店・スーパー	値上げラッシュと賃金との格差が広がり先行き不安が拡大しそうである。	
	企業	東青	建設	資材価格、人材不足とも自力で解決できる範疇を超えているので静観するしかない。
			津軽	電気機械製造
		県南	経営コンサルタント	原材料、エネルギー価格の上昇が今後も継続していくと思われるから。
電気機械製造			今のところエネルギー不足や物価高が抑えられる様子がない。冬の需要期に向けエネルギー不足・不安は大きなリスク要因である。大口受注はめっきり減りました。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなる	企業	下北	食料品製造	旅行支援が始まり、年末、年始も人が動き、いい反面、製品の値上げ、資材の値上げ、エネルギーの大幅値上げが続くことの影響の方が大きい。	
悪くなる	家計	東青	百貨店・スーパー	食品の値上げ、電気料、冬は燃料費も加わり、さらに家計を圧迫。必要以上の消費を抑える傾向がますます強まると考えます。	
			タクシー	人がいない、物が売れない、外食もしない、の完全に守りの体制に入ったとしか見えないからです。ウィズコロナが浸透しつつあるとはいえ、まだまだ人の気持ちは摺り足前進状態のままで、感染回避を理由に「楽をすること」がもはや日常習慣になってしまった感があります。	
		津軽	百貨店・スーパー	円安が続くのであれば景気は、良くはならないと思う。また、日本の資源その他不足が懸念されるから！	
		県南	百貨店・スーパー	電気料・ガス代金の高騰により、家計負担が増えそうのため。食料品や日用品の値上げにより、家計負担が増えそうのため。冬期賞与が昨年より減額されそうのため。	
			設計事務所	良くなる要素が見当たらない。	
		下北	コンビニ	値上げで年金生活の人たちは、へろへろです。	
		企業	津軽	食料品製造	これから寒くなる季節を迎え節約するのも限界がある。
		企業	県南	食料品製造	為替の影響で輸入品が高騰。エネルギーコストの大幅上昇。
回答無し	家計	東青	スナック	全く見当が付きません。多少なりと期待しておりますが…バイトをお願い出来る状態では有りません。	

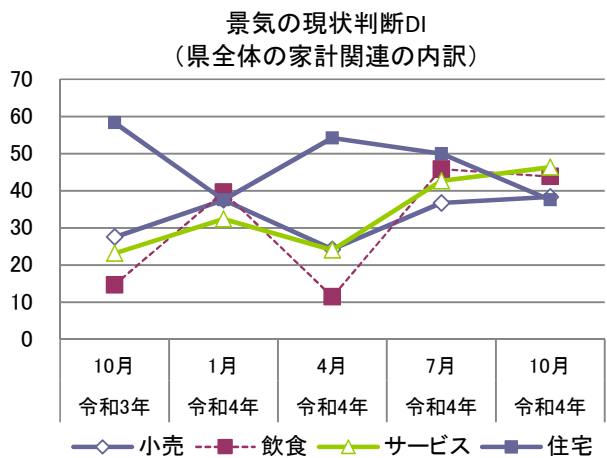
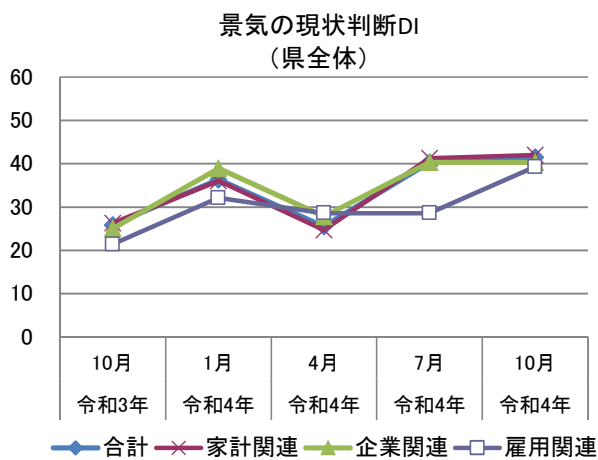
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

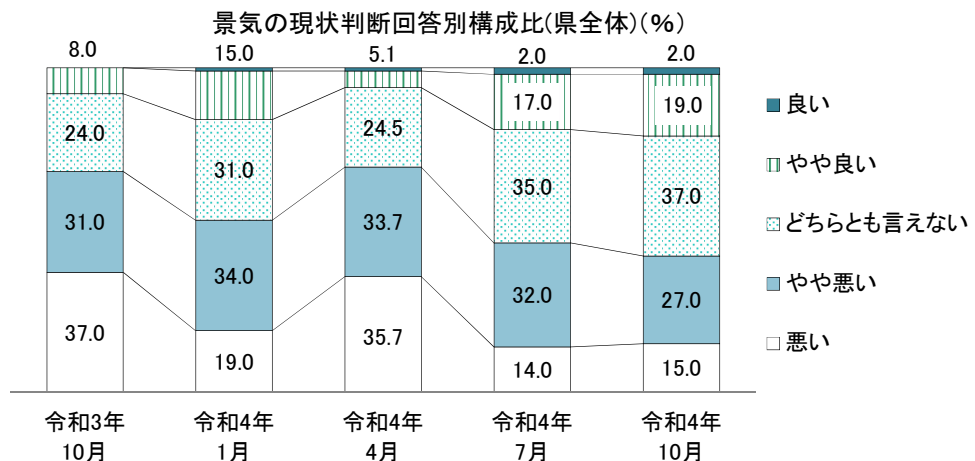
n = 100

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	25.8	36.3	25.5	40.3	41.5	1.2
家計関連	26.3	36.0	24.7	41.3	42.0	0.7
小売	27.5	37.5	24.2	36.7	38.3	1.6
飲食	14.6	39.6	11.4	45.8	43.8	▲ 2.0
サービス	23.1	32.4	24.0	42.6	46.3	3.7
住宅	58.3	37.5	54.2	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	25.0	38.9	27.8	40.3	40.3	0.0
雇用関連	21.4	32.1	28.6	28.6	39.3	10.7



②回答別構成比 (%)

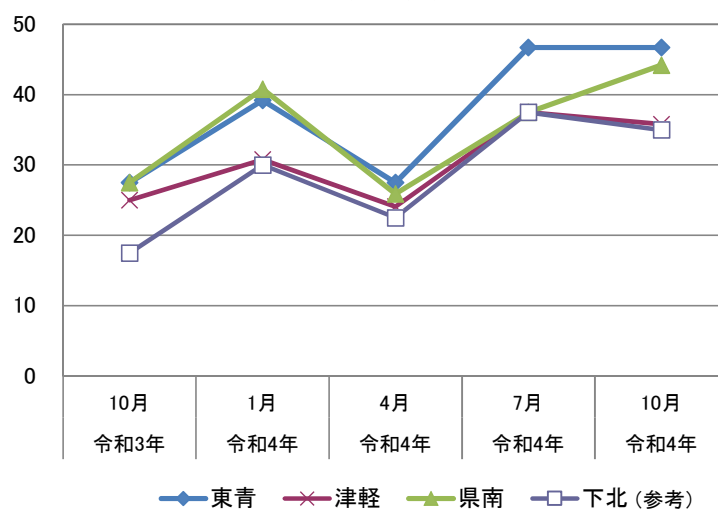
	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
良い	0.0	1.0	1.0	2.0	2.0	0.0
やや良い	8.0	15.0	5.1	17.0	19.0	2.0
どちらとも言えない	24.0	31.0	24.5	35.0	37.0	2.0
やや悪い	31.0	34.0	33.7	32.0	27.0	▲ 5.0
悪い	37.0	19.0	35.7	14.0	15.0	1.0



③地区別DI

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合 計	25.8	36.3	25.5	40.3	41.5	1.2
東青	27.5	39.2	27.5	46.7	46.7	0.0
津軽	25.0	30.8	24.1	37.5	35.8	▲ 1.7
県南	27.5	40.8	25.9	37.5	44.2	6.7
下北	17.5	30.0	22.5	37.5	35.0	▲ 2.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	美容院	お客様自体どのように過せばいいのが本当に迷っているようです。全体になんでも上がりますから一。
		商店街	ともかく、日々、街は県外からの旅行者（家族連れ、二人連れ、一人、グループ等すべて）や、ビジネス出張と思われる方々が非常に多く行き来しており、外国人客の姿もちらほら見かけるようになり、街を歩き交う人々が増えている。単純に以前に戻るという事ではなく、コロナで経験したことを活かしながらであれば、経済は回して行けるように感じている。
		観光名所等	開始したばかりの旅行支援のクーポン利用は今のところ全体の約1割。2年間皆無であった海外からの団体予約がある（9月～11月 17団体）。
		卸売業	週末の飲食店への人の流れが多くなっている。土・日の観光・旅行者が駅周辺多くみられる。
		一般小売店	ウクライナ情勢や円安の影響による物流や原材料のコストアップからくる様々な物の価格上昇が顕著。経済活動への影響大。
		一般飲食店	色々な情勢がありますが希望をもって次の世代につながるように皆それぞれのポジションを守り、郷土、地域を活性化させていければと思っています。がんばりたいと思っています。
		衣料専門店	円安、確かに輸入製品を扱っていると仕入れ値がずいぶん上がっている。しかし一次産業の輸出、国外の観光客にとっては最高の条件下では。本県は一次産業、観光産業が重点項目。期待できるのでは。
		レストラン	連休や紅葉シーズンになり、少しずつお客様が動くようになってきて、団体のお客様の予約も入ってきましたが、とにかく材料の値上げがいったいどれほど値上がりするのか不安。
	娯楽業	燃料費の高止まりのせいか、普段の自動車の交通量が少なく感じます。	
	津軽	美容院	報道を見る限り、外国と日本ではコロナとの向き合い方が大きく異なっているように見える。コロナが日本特有のエンデミックにならないことを願うばかり。
		観光名所等	値上げ通告。ウクライナ戦争、原料、資材、電気料金。 人材不足、求人情報出すも人集まらず。 北朝鮮ミサイル、Jアラートで警報が鳴っても近くに避難場所なし。防空壕構築補助事業が欲しい。
		観光型ホテル・旅館	インバウンドの予約が入って来てます。
		一般小売店	当市の場合、いろいろな団体・組合などへの販促援助が多く、消費活動の活性化に役立っているような気がする。
		スナック	コロナや物価高で経済活動もしにくいですが少しでも景気回復してもらいたい。
		百貨店・スーパー	県内企業の新入社員(高校、大学)の募集人員の受皿が少ないと思う。家庭の実情も考慮した上で高校生の就職募集枠を増加させてもらいたい!
衣料専門店		一年近く会合（飲み会）に行っていない。と言う方が結構いる。これでは、飲食店は大変だと思う。	
コンビニ	災害復旧等と農家さんの事で、また支援が必要になるのではないかと考えている。		
県南	百貨店・スーパー	市内にある映画館が来年1月5日で閉館することが決まったそうです。とてもとてもとても残念です。	
	美容院	全体的には渋っている様には見えませんが、節約にはもう少し気を使うかも知れません。生活水準自体はあまり下げないと思う。	
	商店街	店舗の規模縮小や閉店する店がある。	
	住宅建設販売	値上げの話をよく聞くようになり、私自身も節約を心掛けているが、周りのひとも節約している話をよく聞く。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	卸売業	値上げ直前の買い込みがとて多かったと感じる。前回の値上げの時よりも客対応数が多かったと思う。業務店も一般客も値上げ情報に敏感になっていたと思う。
		一般小売店	中心商店街と呼ばれた町もすでに商店街では無くなり創業75年の老舗が10月で廃業する事になった。
		一般飲食店	これと言って明るいニュースがない。耐え忍ぶしかない感がする。今までの国のパワーはどこにいったのか。
		タクシー	市街はお盆過ぎにコロナ患者が増えたことにより、それまで調子よく市民が街に人が出て来ていたのがストップ。街には人が少ない。中心街とは言うけれど、老舗の店は閉めてしまったり時短をしたり中心街と言うイメージがなくなって来た。街に出て来てウインドウショッピングも出来ないし皆さん郊外の大店に行ってしまう。
	下北	一般飲食店	一般的に当市の人にはコロナが出たと言えば家から出ない。三連休が2回も続けばその後の日々は年金日まで出てこない、そんな傾向がうかがえます。
		百貨店・スーパー	買上点数のダウン。来店頻度の減少。嗜好品・衣料品の単価ダウン。
		コンビニ	安い商品を買う。年金受給日午前中だけ買い物をして、あとは家にこもる。
企業	東青	食料品製造	コロナで旅行や家族での再会を断念していたが、ワクチン接種や状況を踏まえながら行動に移す仲間が増えてきました。諸外国では脱マスクですが、やはりマスク生活が安心材料の一つであると思います。頑張りましょう。
		経営コンサルタント	8月に全国の県庁所在地の青森市の物価上昇率は全国平均の1.3倍と発表があったが、10月から食品や飲料は6,500品目以上が値上げされ外食チェーン店でも値上げが相次いでおり、物価上昇への不安は強まり購買活動に影響が出てくると考えられる。その一方、全国旅行支援で景気に影響はあると思われるが円安、ウクライナ危機による原料高の収束の見通しがつかない状況は続いているので楽観視はできないと思われる。
	津軽	広告・デザイン	持っているところは持っているが、還元するような使い方は、していないように思う。青森県は特に顕著だが、若者が消費を拡大できるだけの給与も支給されず、最低賃金もまだまだ低い状況。県外に人財となりうる若手を流出するスパイラルを作っているのに気づいていない、目を背けているツケが回っているのだと考える。年配者ですら自由に消費ができない経済状況を作り出した政治状況を是正してほしいと考える。
		建設	10月より物の値段が高くなったのを実感した。食、酒類等、生活に係るすべてと言っていい。この状態がいつ迄続くのか心配だ。コロナが以前より少なくなったようだが、依然として多い。ロシア・ウクライナの戦争が早く終息してほしい。あらゆる事が負の連鎖が続いている。何か明るいきざしになる物はないのか。
		食料品製造	円安が増々すすみ、更には最低賃金の高騰、原材料、電気料金等々、倒産している会社が増えている。
		飲料品製造	各資材の値上り要請が2か月～3か月の頻度である。
	県南	電気機械製造	コロナウイルスに気をつけつつも、来青する取引先が増えました。とても良いことだと思いますが、県民割やブロック割でホテルが取りづらく、足を引っばっているのが大変気になります。(取引先が関東や中部地区のため、割引が使えないのに予約は取れない。)
		広告・デザイン	コロナ融資の返済が始まっている。物価が上がり、値上げが続いている・円安である等、このまま事業を継続できるか疑問である。
		建設	今まで買物をしてポイント還元をあまり意識していなかったが、最近貯まったポイントを有効に使い、キャッシュをなるべく出さないように考えるようになってきた。
		経営コンサルタント	令和5年10月から消費税のインボイス制度が開始されるが、中小企業の経営者にとってこの制度導入について、企業側の負担が増えるだけで、メリットがないと考えている経営者が非常に多い。

分野	地区	業種	自由意見
企業	下北	食料品製造	ほぼ毎日、取引先各社から値上げの案内が届く。
雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルスの影響から、少しずつ回復しているように思う。完全復活にはほど遠いが、観光、イベント、徐々に人の動きが出てきていると感じる。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とす

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、娯楽業、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良 くなっ ている	変 わ ら な い	やや悪 くなっ ている	悪 くなっ て い る
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166 (直通)

fax : 017-734-8038